

愛称：きらめきストーリー

追加型投信／内外／資産複合

信託期間：2006年2月16日 から 無期限

基準日：2022年8月31日

決算日：毎年1、3、5、7、9、11月の各10日(休業日の場合翌営業日)

回次コード：3056

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

《基準価額・純資産の推移》

2022年8月31日現在

基準価額	10,717円
純資産総額	496百万円

期間別騰落率

期間	ファンド	TOPIX
1カ月間	-1.5%	+1.2%
3カ月間	+0.6%	+2.6%
6カ月間	+3.0%	+4.0%
1年間	-2.3%	+0.1%
3年間	+20.1%	+29.9%
5年間	+19.1%	+21.4%
年初来	-2.8%	-1.5%
設定来	+68.3%	+20.9%



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

《分配の推移》

(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1~87期	合計：3,520円
第88期 (20/09)	30円
第89期 (20/11)	50円
第90期 (21/01)	60円
第91期 (21/03)	60円
第92期 (21/05)	60円
第93期 (21/07)	60円
第94期 (21/09)	60円
第95期 (21/11)	60円
第96期 (22/01)	60円
第97期 (22/03)	60円
第98期 (22/05)	60円
第99期 (22/07)	60円
分配金合計額	設定来：4,200円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

《主要な資産の状況》

※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成

資産	銘柄数	比率
外国債券	40	48.9%
国内株式	84	48.8%
国内株式 先物	1	0.8%
コール・ローン、その他		2.3%
合計	125	---

債券 ポートフォリオ特性値

直接利回り(%)	2.2
最終利回り(%)	3.1
修正デュレーション	7.7
残存年数	9.2

債券 格付別構成

格付	比率
AAA	78.7%
AA	15.6%
A	5.7%
BBB	---
BB以下	---

株式 組入上位5業種

東証33業種名	比率
電気機器	18.4%
陸運業	5.8%
食料品	3.6%
サービス業	2.8%
その他製品	2.7%

通貨別構成

通貨	比率
日本円	50.0%
米ドル	12.8%
ユーロ	11.2%
カナダ・ドル	7.2%
豪ドル	6.7%
英ポンド	5.9%
ポーランド・ズロチ	2.1%
ノルウェー・クローネ	1.6%
デンマーク・クローネ	1.5%
その他	1.0%

株式 組入上位10銘柄

銘柄名	比率
ローム	2.5%
オリエンタルランド	2.5%
京セラ	2.5%
日本電産	2.4%
村田製作所	2.4%
SGホールディングス	2.4%
島津製作所	2.3%
任天堂	2.3%
オムロン	2.2%
日本新薬	2.2%

※先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

※債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

※債券 ポートフォリオ特性値、債券 格付別構成は、債券ポートフォリオ(債券先物を除く)に対するものです。

※格付別構成については、R&I、JCR、Moody's、S&P、Fitchの格付けのうち最も高いものを採用し、算出しています。

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書(交付目論見書)を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

加入協会

（国内株式）

国内株式市場は上昇しました。上旬は台湾に関する米中対立懸念が高まった一方、国内企業の4-6月期決算はコンセンサス対比では堅調との見方もあり横ばい圏で推移しました。中旬に入ると、米国物価関連統計の下振れによる米インフレ懸念の後退が好感され、株価は上昇しました。下旬に行われたFRB（米国連邦準備制度理事会）議長講演で利上げ継続姿勢が強調され、米国利上げ懸念が高まったものの、月間ではプラスとなりました。

（外国債券）

海外債券市場では、金利はおおむね上昇しました。

米国では、月上旬に発表された雇用統計の結果が堅調であったことから、金融引き締めによる景気悪化懸念が後退し、金利は上昇しました。また、引き続き世界的にインフレ率が高止まりしていることから、他の先進国もおおむね金利は上昇しました。特に欧州では、インフレ率のさらなる上昇懸念から利上げ観測が高まり、金利上昇幅が大きくなりました。

（為替相場）

為替市場では、投資対象通貨は対円でおおむね上昇しました。米国金利が上昇すると、日米金利差の拡大などから円安米ドル高基調となりました。また米国や欧州など各国・地域の中央銀行がインフレ抑制のために金融引き締めを継続する姿勢である一方、日銀は引き続き金融緩和政策を維持していることから円が弱含んで推移し、その他の通貨も対円でおおむね上昇しました。

2022年9月29日の繰上償還に備えるため、2022年9月1日に株式と債券を売却し、わが国の短期金融資産を中心とした安定運用に切り替えました。そのため、株式、債券、為替等の値動きによる基準価額の変動がほとんどなくなりますので、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

当ファンドを長きにわたりご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

《ファンドの目的・特色》

ファンドの目的

- 京都府企業の株式および海外のソブリン債等に投資し、安定した収益の確保および信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

1. 京都府企業（株式公開企業に限ります。）の株式および海外のソブリン債等に投資します。
 - 京都府企業の株式の組入比率は、50%程度とすることを基本とし、海外のソブリン債等の組入比率は、50%程度とすることを基本とします。
 2. 毎年1、3、5、7、9、11月の各10日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ・外債ソブリン・マザーファンド」と「京都応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

《投資リスク》

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

《ファンドの費用》

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉2.2%（税抜2.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率1.1% （税抜1.0%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

《収益分配金に関する留意事項》

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

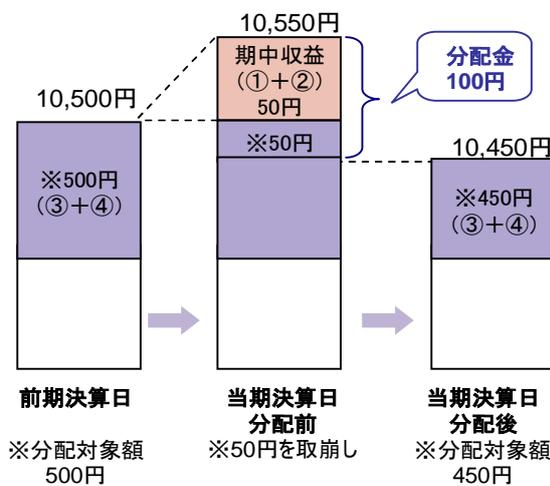
投資信託で分配金が支払われるイメージ



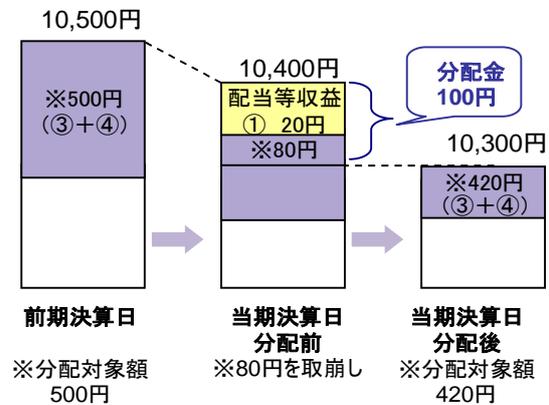
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



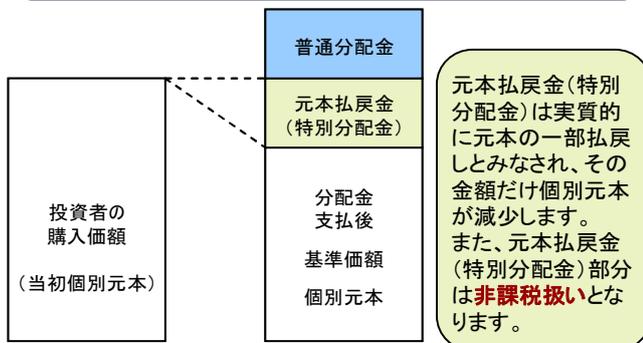
前期決算日から基準価額が下落した場合



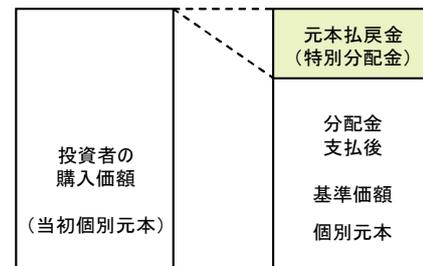
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

◀ 当資料のお取り扱いにおけるご注意 ▶

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▶ **大和アセットマネジメント** フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）

当社ホームページ

▶ <https://www.daiwa-am.co.jp/>

京都応援バランスファンド（隔月分配型）（愛称：きらめきストーリー） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社京都銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第10号	○	○		

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。